

# 追加講座!

福岡県地域福祉活動職員連絡会  
研修事業 2012

## 実践から学び、考える

# コミュニティワーク研究会

サロンや見守り等の小地域福祉活動、ボランティアグループや当事者団体の組織化、福祉教育、ソーシャルアクション…。社協の地域福祉活動であるコミュニティワークの展開や仕掛けには、様々な方法や切り口があり、地域によってもその取り組みは様々です。

同じ社協ワーカーの実践や思い、また悩みに触れることで、考えさせられること、学ぶことが多くあるものです。この研修では社協ワーカーの実践報告を通し、社協・コミュニティワークを高めていきたいと、2012年度地職連の研修事業として、本研修会を4回シリーズで実施してきました。

こうした市町村社協のコミュニティワーク実践を積み上げていく機会でもある本研修会を今後も継続していきたいと考え、そのきっかけとして3月に追加講座を開催することになりました。皆様のご参加をお待ちしております。

■と き **3月16日** (土) 14:00~17:00 ※受付は 13:30~

■会 場 クローバープラザ 502研修室  
(〒816-0804 春日市原町3丁目1番7号)

■参加費 無料

■対象者 社会福祉協議会の地域福祉担当職員、研究者等

■実践報告の内容 / 「子どもたちの福祉活動から、福祉教育を考える」

●発表者 宇都宮慎吾さん (北九州市八幡西区社会福祉協議会)

福祉教育と言いながらも、社協職員からの一方通行な押し付けや、その場限りの学習にとどまってしまうこともあるかも…。小学生を対象とした福祉教育の実践報告をもとに、社協ワーカーの視点から福祉教育を考えます。

■タイムスケジュール /

14:00 14:10 14:50 15:10 16:10 16:30 16:40 17:00

開会	実践報告と 課題提起	質疑 応答	グループワーク 意見交換	報告	実践報告者の コメント	コメンテーターに よるコメント	終 了
----	---------------	----------	-----------------	----	----------------	--------------------	--------



## ■コメンテーター／村山浩一郎先生

公立大学法人 福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科准教授。主な研究テーマは、地域福祉を推進するための様々な実践や方法についての研究。

氏は地域福祉を「児童福祉や高齢者福祉などの対象者別の福祉分野ではなく、地域住民が主体となり、行政や専門職と協働しながら、援助を必要とする人を地域で支えたり、地域の共通課題の解決に取り組んだりする、地域を基盤とした福祉実践」と捉えており、具体的には、住民による小地域福祉活動、福祉NPO、コミュニティワーク、地域福祉計画など、地域福祉を推進するための住民活動、援助技術、計画・政策などについて研究を行っておられます。

■主催／福岡県地域福祉活動職員連絡会 (Mail) f\_chishokuren@yahoo.co.jp)

■申込み・問合せ／筑後市社会福祉協議会 (〒833-0032 福岡県筑後市野町 680-1)

TEL (0942) 52-3969 FAX (0942) 53-6677

Mail urabe@chikugo-shakyo.or.jp

## 「実践から学び考えるコミュニティワーク研究会」参加申込み書

社協名			
住 所			
電話番号		FAX 番号	

	氏 名	性別	経験年数	担当役職
例	地職連 太郎	男	5年	地域福祉活動
1				
2				
3				

0942(53)6677(筑後市社協)にFAXでお申し込みください。

※送付文書は必要ありません。